助産雑誌
The Japanese Journal For Midwives
Vol.66 No.9
2012 September
9

次号予告

特集 事例検討から学び，活かす

効果的な事例検討会の進め方 気づきの場，学習の場 土屋清志

私たちの事例検討会

①府中の森 土屋産婦人科 土屋貴美
②東京大学医学部附属病院 松本弘子/氷見祐子
③兵庫県立大学看護学部 工藤美子，ほか
④葛飾赤十字産院 大森昭子/野町寧都/鈴木俊治
⑤吉村医院・お産の家 志直子/熊崎亜希/福永マキ/沖野幸

【コラム】“非”公式ミーティングでの学び 上田典子/前川亮子

Current Focus 東日本大震災が母親のメンタルヘルスに与えた影響 佐藤喜根子，ほか

Topics 連載「ぶつぶつ通信」が100回を迎えました 冨田江里子

連載
いのちをつなぐひとたち 9 河合蘭さん
いのちのささやき 21 宮崎雅子
女性骨盤底再入門 いま知っておきたいこと 10 中田真木
バルナバクリニック発 ぶつぶつ通信 101 冨田江里子
まんが 母って大変。5 山本千恵子

編集後記

●本誌では，今年1月号から写真集『Mother いのちが生まれる』の宣伝を積極的に行なってきました。連載「Mother へのまなざし」もそのキャンペーン(？)のひとつでしたが，単なる宣伝ではなく実際の内容は，助産師として生きてきた女性の半生もしくは一生を深く掘り下げるという，貴重な記録です(写真集には，本連載のダイジェスト版を掲載)。本誌の連載を思い出しながらあらためて写真集のページをめくっていただくと，1葉1葉の写真にあふれる，助産師，写真家，そして母子の思いをより一層，感じることができると思います。(竹内)

●2004年に始まった「バルナバクリニック発・ぶつぶつ通信」，今月号で連載100回を迎えました。先日の講演会で初めてお会いした筆者の冨田さんは，朗らかで柔軟性があって，熱い心と強い信念をお持ちの素敵な方。「貧困の中で亡くなっていった人たちの声を伝えることまでが私の仕事」というお言葉に，編集者としての自分の仕事の意味を考えさせられました。●来月の特集は事例検討。毎日の繰り返しのように思える仕事でも，目を留め掘り下げれば見えてくるものがあるようです。現場に活かせる事例検討の方法とは？ お楽しみに！(栗原)

助産雑誌
第66巻 第8号 2012年8月25日発行 毎月1回発行
発行：株式会社医学書院
代表者 金原優
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2012, Printed in Japan
1部定価：1,365円(本体1,300円＋税5%)
2012年年ぎめ予約購読料(消費税・配送料弊社負担)：
冊子版 15,600円
冊子＋電子版/個人 18,600円 冊子＋電子版/共有 21,000円
電子版/個人 15,600円 電子版/共有 18,000円
編集室：☎ 03-3817-5773 FAX 03-5804-0485
電子メール josan@igaku-shoin.co.jp 担当 竹内／栗原／伊藤
販売部販売課：☎ 03-3817-5657
医学書院ホームページ：http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写，スキャン，デジタルデータ化など)は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的(診療，研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
JCOPY 〈(社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に，(社)出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969，FAX 03-3513-6979，e-mail : info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2012

2026/09/21 12:19:14